



学校だより

平成28年度 第6号
発行日 10月17日
練馬区立大泉第二中学校
校長 神山 信次郎

集団の力とおもしろさ

副校長 田島 幸夫

学校生活にある集団について話します。一つは、部活動という集団です。毎年、4月になると新入生の大半がそれぞれの部に入部し、新しい体制が作られ活動が始まります。3年生が中心となって活躍し、一段と活気が出ます。本校の部活動は、広い校庭、2つもある体育館を十分に活用し、多くの部が成立します。吹奏楽部をはじめ、文化部の活動も活発です。そして、それに応える熱心な顧問の先生がいるのも事実です。3年生は、後輩をまとめ、よく健闘しています。技術の向上による強いチームとなって勝つことを目標にしながら、団結力と最後まで諦めない強い精神力、礼儀、感謝の心を重んじ、活動しています。この部活動という集団は、同学年の交流だけでなく、先輩や後輩との関係や顧問やコーチとの関係を深めることができます。大会の様子を見ていると、試合に出る人、試合を支え応援する人がいて、部活動による成長が生まれ、日々の学校生活では見ることができない一面を発見することがあり、感激します。部活動は、自分達を成長させてくれる集団です。

もう一つは、学級です。学級は、部活動の集団とは違って、目的意識や価値観の違った人の集まりです。だから、何かまとまったことをやるのがとても難しい。でも、学級が、団結して何かを成し遂げた時、その喜びや達成感は格別です。仲間を支える喜び、支えてもらっているという信頼が、合致したとき、その学級は素晴らしいものをつかみ、一生の思い出となります。先日の体育祭においても、みんなが感動を覚えたのはそんな力が働いたからだと思います。

さて、第59回体育祭は終わりましたが、当日は、150名を超える保護者による体育祭ボランティアの方々が受付や校内外パトロール、駐輪場整理等を行っていただきました。また、1000名を超える保護者、地域の方々にご参観いただき、学習の成果を発表することができました。たくさんの声援に支えられ、盛大に実施できたことを大変嬉しく思います。感謝申し上げます。学校生活後半は、文化発表会、更には合唱コンクールと学校行事が続きます。今一度、最初に掲げた目標を振り返ってみてください。そして、その集団が進むべき方向をみんなで見定め、集団づくりの楽しさを十分に味わってほしいと思います。私も再び大二中生から感動をもらいたいと思っています。



3 学年 学力調査の結果分析と授業の工夫・改善

学力調査実施日：平成 28 年 4 月 19 日、6 月 1 日

問題 A は主として知識、問題 B は主として活用に関する内容

国 語（全国学力調査）

本校の平均正答率は、都・全国の平均をわずかに下回っている。

A,B とともに、特に「書くこと」の平均が下回っており、日頃の作文指導では十分でないことが考えられる。根拠を示して自分の考えを書く練習を積むことが必要である。また、A では、「言語の知識・理解・技能」は都・全国の平均を上回っており、知識として定着していることがうかがわれる。漢字小テストで漢字の読み書きの習得をするだけでなく、文脈の中での語彙を捉え正しい漢字を書けるような指導を心がける。

社 会（区学力調査）

本校の生徒の平均正答率は、全国の平均をやや下回っており、区の平均をやや上回っている。領域別にみると、その他と比べて地理的分野において正答率が低く、歴史的分野や公民的分野での学習においても、その都度関連づけて学習を積み重ねていく必要がある。また記述問題において課題がみられるため、事象間の関連性や時系列などを明確に指導していくことを心がけるとともに問題演習を通して身につけさせる必要がある。

数 学（全国学力調査）

本校の生徒の平均正答率は、数学 A は都と区の平均を下回っており、数学 B は全国の平均と同じ数値であった。図形や記述に関する問題は正答率が良かったものの、他の分野では平均を下回っていた。特に、関数の分野が低く、関数 $y = ax^2$ の単元では今までの学習の復習をするとともに、より一層時間をかけて学習を進める必要がある。また、繰り返し学習や家庭学習を通して、基礎・基本的な計算技能を身につけさせる必要がある。

理 科（区学力調査）

本校の生徒の平均正答率は、全体的に区の平均を下回っている。本校の生徒は科学事象に関する関心・意欲は高く、実験・観察なども意欲的に取り組んでいるものの、知識の定着に課題があるといえる。今後は授業のはじめに基本事項の定着のための小テストを実施したり、単元毎に問題演習を実施したりするなど、反復練習をする機会を多く設けることによって知識の定着を図る指導に重点を置いていく。

英 語（区学力調査）

本校の生徒の平均正答率は、目標値・全国の平均値を上回っているが、区の平均値をやや下回っている。技能別に見ると、「書くこと」に関する正答率の低さは全国的な課題であり、年間を通じて取り組んでいくべきである。授業の中で、トピックを与え、自分の身の回りの事柄を伝える活動等を通して、「書くこと」技能の向上を目指していく。同時に自分の伝えたいことを英語で伝えるという、自発的なコミュニケーション能力の向上につなげていく。

2 学年 都学力調査の結果分析と授業の工夫・改善

学力調査実施日：平成 28 年 7 月 7 日

問題 A は教科の内容、問題 B は読み解く力に関する内容

国 語

本校の平均正答率は、都の平均を上回っている。Aでは、「知識理解」の項目の正答率が高く、他の項目に関しては平均をやや下回っている。書く力や読解力の育成や書く力の努めていく必要がある。Bでは、「取り出す力」と「解決する力」の項目の正答率が高く、「読み取る力」の項目の正答率がやや低い。やはり読解力の育成に力を入れる必要がある。授業でタイプ別の文章の読み方を習得させる指導を行うこと。教科書以外の様々な文章(新聞等)を授業で読ませることにより、読解力の向上を図る。また作文を書くことを授業において日常化させていくことで、書く力の育成を図っていく。

社 会

本校の平均正答率は、A、B共に都の平均を上回っている。観点別に見ると、読み解く力に関する内容の問題では、「取り出す力」「読み取る力」「解決する力」の全てで平均を上回っている。教科の内容については、「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の項目で平均を上回っているが、「関心・意欲・態度」の観点のみ、平均をやや下回った。今後の授業では、生徒自身の考えをもち、発表する時間を引き続き確保することで生徒の読み解く力をさらに伸ばす。また、生徒がより関心や意欲をもって取り組める課題の設定を行うとともに、課題の追求の仕方についての指導を行い、生徒がより一層主体的にまとめや調査活動に取り組めるよう工夫する。

数 学

本校の平均正答率は、A、B共に都の平均を上回っている。観点別に見ると、教科の内容の問題では、「技能」「知識・理解」の観点は都の平均を上回っているが、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」の観点は都の平均を下回っている。読み解く力に関する内容の問題では、「取り出す力」「読み取る力」「解決する力」の全てで都の平均を上回ってはいるが、39.2%と低い正答率になっている。習熟度別少人数授業により、基礎・基本の力を少しずつ身につけているので、今後の授業では、発表活動などを取り入れることで数学的な考え方や論理的思考力を身につけさせる指導を行う。

理 科

本校の平均正答率は、A、B共に都の平均を上回っている。観点別に見ると、Aの教科の内容の問題では「技能」「知識理解」の観点は都の平均を上回っているが、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」の観点は、都の平均を下回っている。Bの読み解く力に関する内容では、「取り出す力」の観点では大幅に都の平均を上回っているものの、「読み取る力」「解決する力」の観点では、都の平均を下回っている。今後の授業では、生徒が疑問をもてるような課題設定をし、興味や関心を高めるとともに、実験結果をもとに科学的に考察ができるよう、書き方や考え方の指導を丁寧に行っていく。そして、読解力向上のために、問題を読解したり、実験結果の意味を考えさせたりする機会を設定し、読解することに慣れさせていく。

英 語

本校の平均正答率は、A、B共に都の平均を上回っている。観点別に見ると、Aの教科の内容の問題では「思考・判断・表現」「技能」の観点は都の平均を上回っているが、「関心・意欲・態度」「知識・理解」の観点は、都の平均をやや下回っている。Bの読み解く力に関する内容では、「取り出す力」「読み取る力」「解決する力」の観点では全ての観点で大幅に都の平均を上回っている。今後の授業では、コミュニケーションの中で基本的な語彙や文構造を活用する力が十分身に付くようにしたい。そのためにコミュニケーションを実際に行う言語活動と文法を効果的に関連づけて指導していく。

第 54 回練馬区中学校生徒総合体育大会 連合陸上 総合 7 位(男子 11 位、女子 8 位)

競技種目	順位	選手	記録	競技種目	順位	選手	記録
3 年 100m	第 5 位	笹子浩貴	12. 29	3 年 100m	第 7 位	成田愛美	14. 33
共通 800m	第 1 位	村越風斗	2:04. 46 (大会新)	共通 800m	第 6 位	川本寿音	2:39:98
3 年 3000m	第 3 位	松田玲音	9:51. 29	3 年 100mYH	第 4 位	竹林夏奈	18. 62
1 年 400mR	第 6 位	後藤・柴田 石崎・高橋	53. 20	1 年 400mR	第 5 位	古川・石橋 阿部・若松	57. 15
共通 400mR	第 2 位	笹子・田中 金居・村越	46. 50	2 年 400mR	第 6 位	高宮・奥田 細野・石橋	55. 75
1 年 100m	第 6 位	石橋美来	14. 25	3 年砲丸投	第 5 位	関 美優	9. 25
2 年 100m	第 2 位	奥田まり	13. 55				

読書推進活動 “本の探検ラリー”

本の探検ラリーは、図書館にある本をテーマ別に展示し、その中から本を探して読み、クイズに答えるイベントです。大二中では、「ねりま子どもと本ネットワーク」と協働で実施しました。クイズを解きながら、様々な本と出会い、本に親しむことができました。自分では選ばない本と出会ったり、いろいろな本に興味をもつきっかけになりました。



今後の主な予定

10月	月	新時間割 始	11月	火	第5、6校時カット
17日		復習確認テスト(3年)	1日		(教育指導課訪問の為)
19日	水	中央委員会	2日	水	中央委員会
		情報モラル教室(2年)			
20日	木	教育相談室開室日	3日	木・祝	文化の日
21日	金	教育相談室開室日	7日	月	生徒総会
					三者面談 始(～14日)
25日	火	学校評議員会	12日	土	土曜授業日
					地域合同防災訓練
					PTA 標準服活用会 14:00～
27日	木	進路説明会(3年)			
28日	金	教育相談室開室日			
29日	土	文化発表会(弁当持参)			
		8:45～(第1体育館 他)			
31日	月	専門委員会			

